

調整会議における検討結果・意見等について

北信保健福祉事務所

- 1 日 時 平成 30 年 8 月 21 日 (火) 午後 6 時から午後 8 時まで
 2 場 所 長野県飯山庁舎 300 号会議室

項 目	検討結果・意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長の選出について 	<p>(委員の互選により、会長に鈴木委員が選出される。) (鈴木会長あいさつ)</p> <p>当医療圏は、県内 10 医療圏の中で、木曾医療圏について 2 番目に小さな医療圏で、医師、医療従事者の確保、偏在対策など様々な課題がある。なかなか具体的な解決策が見えてこないが、委員の皆様から、お知恵と忌憚のないご意見をいただきながら、北信医療圏を守っていきたい。</p>
<p>1 長野県の地域医療構想及び高齢者プランについて</p>	<p>(事務局 遠山副所長から資料 1 により説明) ー意見・質問なしー</p>
<p>2 北信医療圏における平成 29 年度病床機能報告の状況について</p>	<p>(事務局 遠山副所長から資料 2 により説明) (続いて、各病院から報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石坂委員 (飯山赤十字病院長) <p>現在の病床は、7 : 1 の急性期病棟が 60 床、地域包括ケア病棟が 60 床×2 の 120 床、回復期リハビリテーション病棟が 60 床、療養病棟が 44 床、合計 284 床。</p> <p>急性期病棟 2 病棟 120 床を 1 病棟 60 床にしたところ、病床稼働率は 80% くらいだが、医療・看護必要度が高く非常に忙しい。</p> <p>地域包括ケア病棟が 2 つになったが両方とも稼働率が 70% くらいで、病院の収支がよくない原因になっていると思われる。</p> <p>将来的に病床数を適正化する方向だが、今のところ、許可病床数は 284 床を保ち、240~250 床を稼働したいと考えている。</p> <p>収支では、人件費などの固定費がかさんでいる。当院の規模、地域の状況に見合った機能を果たすための適正な人員配置を慎重に検</p>

討している。

当院の特徴は、医師が少ないこととリハビリの人員が多いこと。理学療法士・作業療法士が多く、これを活かしていきたい。

地域医療構想における当院の方針としては、地域の方々に十分な医療を提供することが一番重要で、患者さんを断らないで受け入れるということをやっていきたい。北信総合病院さんにもお力添えをいただきながら、北信地域の患者さんは、なるべくこの地域で診るようにしたい。もう一つは、当院の柱である在宅医療をもう少し広めていきたい。

地域に貢献できる適正な機能を発揮できるようにするにはどのような病院の形態がいいのか、これから検討していきたい。

- ・ 洞委員（北信総合病院長）

稼働病床 375 床で、高度急性期が 63 床、慢性期が 38 床、残り 274 床が急性期病床で、病床稼働率は 93% くらい。

この地域の中では、急性期をメインにやっていきたい。回復期・リハビリについては、理学療法士、作業療法士の数が飯山赤十字病院さんに比べて少し弱いので、飯山赤十字病院さんに頼っている。地域包括ケア病棟の患者もなるべく早く飯山赤十字病院さんに転院するように努力している。

一番の問題は、整形の機能が弱いこと。整形外科が充実すれば、かなり救急医療にも対応できると思う。

ヘリポートを導入したことにより、十日町市や津南町の循環器の患者を受け入れるようになり、循環器内科は、かなり伸びている。

北信圏域全体で消化器系の患者の動きがあまりなかったのが誤算。

呼吸器内科や脳神経内科については、ベッド稼働率は非常によいが、診療単価があまり上がらない。

救急車は、飯山赤十字病院さんがかなり対応しており心強い。内科を引続き頑張っていただきたい。

- ・ 高橋委員（佐藤病院長）

当院は、内科 20 床で、人員、日数の関係で、急性期に達せず、回復期となっている。

—意見・質問なし—

（事務局 小林所長）

資料の 5 頁と 6 頁の病床機能報告結果のデータについては、このような形で調整会議に出すのは初めて。長野県ホームページに掲載されているものを加工した。

<p>3 今後の地域医療構想の推進及び地域医療構想調整会議の進め方について</p>	<p>それぞれの病院の病棟単位の数字をお互いに見合いながら今後の病床のあり方を考える上で参考にさせていただきたい。資料の作り方についても、うまい提示の仕方があれば、ご意見・ご提案等をいただきたい。</p> <p>(鈴木会長)</p> <p>石坂委員から病床数の適正化という話があったが、採算性だけでは地域医療、特に、この地域は守れない。</p> <p>飯山赤十字病院には飯山赤十字病院の得意分野、北信総合病院には北信総合病院の得意分野があり、補完していくことでうまく回っていくのではないかと改めて認識した。</p> <p>(事務局棚田課長補佐から資料3により説明)</p> <p>意見・質問</p> <p>(石坂委員)</p> <p>地域医療人材ネットワーク構築支援事業について、拠点病院から地域の病院に派遣していただける医師は、どのような医師を想定しているのか。また、そういった目途が十分に立つのかどうか、お聞きしたい。</p> <p>(事務局 棚田課長補佐)</p> <p>派遣する医師については、基本は、拠点病院とその周辺部の地域を支えていただいている病院との調整になる。</p> <p>県全体では、信州大学から派遣された病院で、地域の病院に派遣をしていただくことや、ドクターバンクを活用した派遣など、総合的に調整させていただくことになる。</p> <p>この事業は今年度、初めて県が助成を行うものであり、この事業を各病院に知っていただき、お互いのネットワークを広める土台として活用していただくことが主眼。拠点病院については、地域医療を守るための支援という観点でお考えいただきたい。</p> <p>(鈴木会長)</p> <p>この問題に関しては、急に解決できる問題ではない。大学が派遣を増やすとか、研修医の研修先の病院をある程度誘導していくというようなことをしていかないと、いつまでたっても解決しないと思うので、こういう機運を高めていくことは大事である。</p> <p>(足立委員)</p> <p>医療の会議に出席して思うことは、解決するためのスキームがで</p>
---	---

きていないということ。

例えば、介護施設であれば、これから10年後の人口推計から何歳以上が何人いて、介護対象者は何%と想定し、今よりこれだけの施設が足りないので、いくつ増床する。運営は公設か民間か、建設費はどのくらいか等、計画を立てて事業を推進していく。

医療については、その辺は難しいかもしれないが、医療体制が弱いということは、人口減につながってしまう。

2025年問題として漠然ととらえるのではなく、各病院で必要なものを積み上げて、その上で、医師がどのくらい確保しなければならないか、費用はどのくらいか、どのように皆でサポートするのかなどのプロセスを明確にしないと将来像が見えてこない。

石川県では、県が奥能登のエリアに医師を確保して、その地域の医療を守っていくというシステムができているという話を聞いた。

長野県としても、地域別に病床数をどのようにしていくのか、プロセスのところをしっかりと皆で協議していかないと、個々の病院の経営の話になってしまい、解決の方向に向かなくなってしまう。

県は、構想を計画にしていけないといけない。

(事務局 棚田課長補佐)

具体的な医療の必要量、必要な診療科目、医師の必要数などがあいまいになっていることは、ご指摘のとおりであるが、人口規模で医療の必要量を出すのは非常に難しい。

医療の場合は、必ずしもその圏域だけですべて担っていく状況でもなく、複雑にさまざまな要因がからんでくる関係上、推計でききれていないのが現状である。

(事務局 小林所長)

地域医療構想(カタカナでビジョン)は、あくまでも目安であって、実際どうやるかは医療機関の自主的な取り組みが基本であるが、それぞれの病院がよその病院のことを全く知らないのはよくないので時々こうやって情報交換しながらやりましょうということ。

もともと制度設計されていないところが地域医療構想の悩ましいところで、こういうふうになれば数字がでてくるというふうになれば一番よいが、難しい。

(足立委員)

北信管内の医療体制のあり方を示していかないと、どのような形でこの地域の医療がやっていけるのか、住民はわからない。

(鈴木会長)

<p>(議事終了)</p> <p>・ 今後の日程等</p>	<p>地域の住民の方々は、医師が思う以上に、病院の姿や診療内容のことを知らない。資料等を作って発表する機会を作るなどしていかないと、ここでいくら意見交換しても具体性が出てこないと感じる。病院の先生方にも、考えてみていただきたい。</p> <p>(洞委員)</p> <p>DPC データで、この地域では、この疾病が多くて、どの部分が必要かということはある程度分かる。市町村の人口動態と介護需要、また、医療需要についても北信医療圏だけではなく、市町村ごとに個別に作ったが、各市町村により全部状況が異なる。そういうものを利用しながらやっていかないといけないと思う。</p> <p>一番大事な基本は、人口を減らさないこと、これに尽きる。</p> <p>(鈴木会長)</p> <p>以上で、本日の調整会議を終了する。</p> <p>(事務局 遠山副所長)</p> <p>今回は、公立・公的以外の民間医療機関の調査結果の報告等を踏まえ、圏域全体の問題、課題をまとめたものを示し、今後の方向性等を議論したい。</p> <p>時期は、12月から1月頃を予定。後日委員の皆さまの日程を照会させていただきます。</p> <p>(閉会)</p>
-------------------------------	---